

令和6年度第1回徳島県動物愛護推進協議会

令和6年8月29日（木）午後2時から
徳島県庁10階大会議室

次 第

1 開会あいさつ

2 議 題

（1）犬・猫の収容頭数等の実績について

（2）犬・猫の「殺処分数ゼロ」に向けた今後の取組について

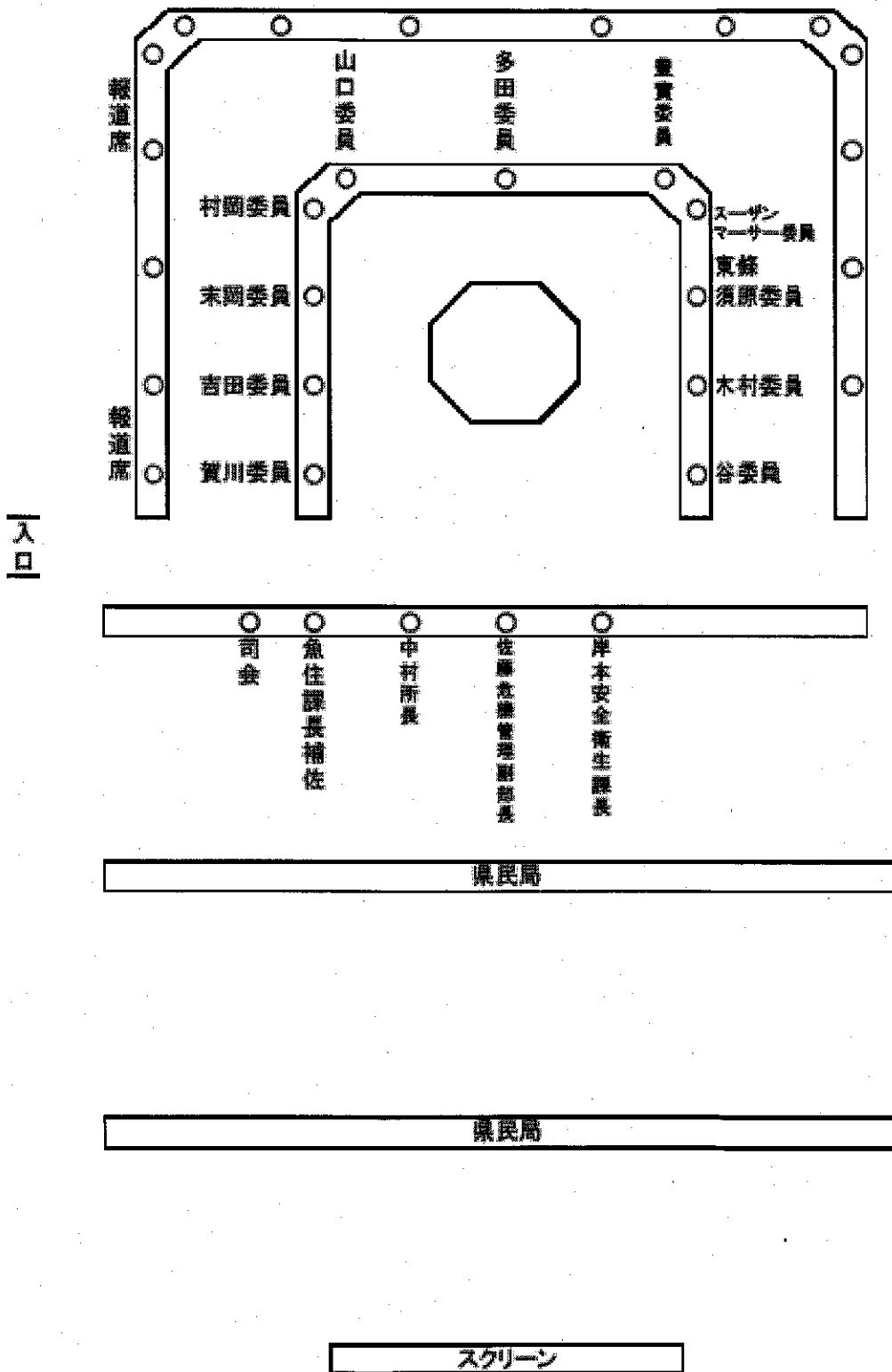
（3）その他

ア 令和6年度クラウドファンディング経過報告について

イ 9月のイベントについて

3 閉会あいさつ

配席図



徳島県動物愛護推進協議会委員名簿

令和6年4月1日現在

区 分	氏 名	役 職 等	備 考
有識者	多田 利光	(公社)徳島県獣医師会 会長	
	山口千津子	(公社)日本動物福祉協会 顧問	
	宮本 哲也	ヒトと動物の関係学会 会員	
動物愛護管理団体等	渡部 奈美	(公社)日本愛玩動物協会 会員	
	スーザン マーサー	特定非営利活動法人 HEART代表	
	豊實 祐之	(学)野上学園 ブレーメン動物専門学校	
	賀川 比路	ジャパンケネルクラブ 会員	
	須原 博文	(株)ドッグマーケット 代表取締役社長	
	木村 浩恵	保護ねこるーむBoron	
行政	村岡 文英	徳島県教育委員会義務教育課主幹	
	吉田 高志	徳島市環境部副部長	県市長会
	末岡 稔久	板野町環境生活課長	県町村会
その他	谷 尚美	公募委員	
	秋山 紗花	公募委員	

【議題 1】犬・猫の収容頭数等の実績について

本県では、平成15年度に開設した動物愛護管理センターを核として、県獣医師会や民間ボランティアなど関係の皆様のご協力を得て、動物愛護に関する情報発信、適正飼育・終生飼養の実践啓発や譲渡の促進などに取り組んでいる。

その結果、犬・猫の殺処分数は大きく減少し、目標に掲げている「助けられる犬・猫の殺処分数ゼロ」については、令和3年度から3年連続で達成し、今年度においても、現在まで継続している状況である。

一方、収容された犬・猫の中には、攻撃性や健康状態等の理由で譲渡ができないものもあり、こうした「譲渡不適の犬・猫」については、やむなく殺処分を行っている状況である。

表 1 犬の収容頭数等実績（令和3年度～令和5年度）

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
犬・収容頭数	817	765	669
犬・返還頭数	143	113	101
犬・譲渡頭数	446	387	292
犬・処分頭数	219	250	256
() は助けられる犬の頭数	(0)	(0)	(0)

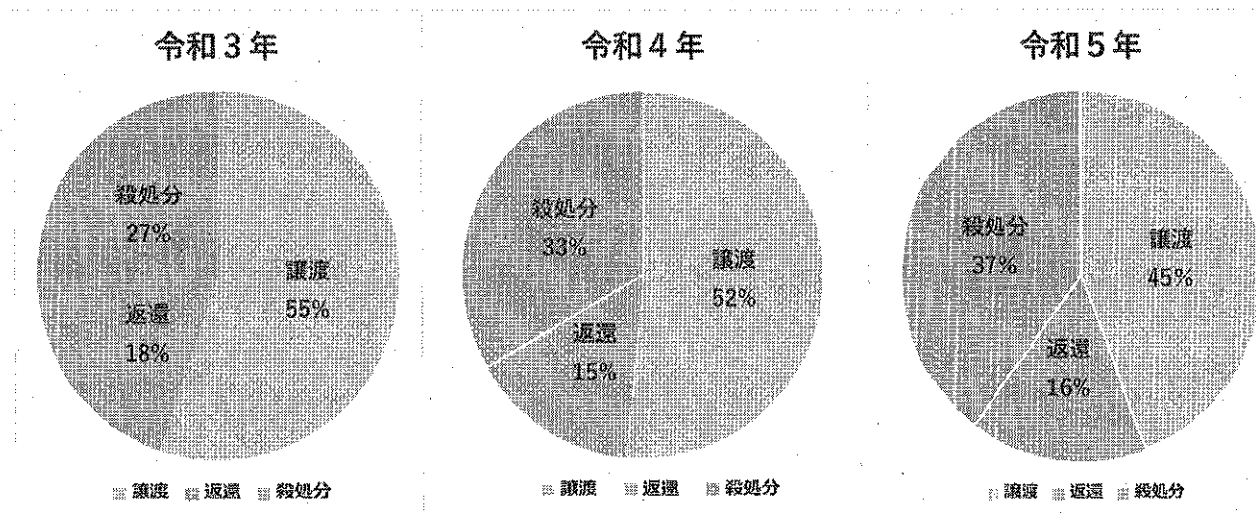


図 1 返還・譲渡・殺処分の割合（犬）

表 2 猫の収容頭数等実績（令和3年度～令和5年度）

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
猫・収容頭数	1 6 8	1 4 2	1 1 7
猫・返還頭数	3	7	0
猫・譲渡頭数	1 1 5	8 3	8 3
猫・処分頭数	5 0	3 8	4 0
() は助けられる猫の頭数	(0)	(0)	(0)

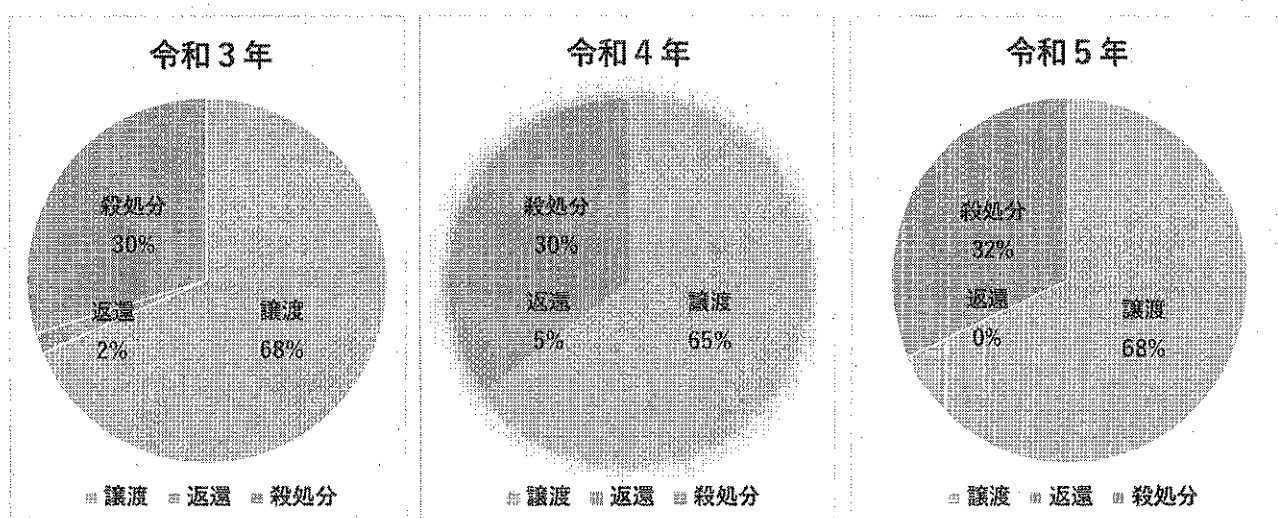


図 2 返還・譲渡・殺処分の割合（猫）

『全ての犬・猫』の殺処分ゼロに向けて

現状 「収容頭数の減」と「助けられる犬猫の殺処分ゼロ」を3年連続で達成

犬・猫	収容頭数 (入口) ①	返還・譲渡頭数 (出口) ②	計 ③=①-②	殺処分数		
				収容後の 死亡 ④	助けられる 犬猫 ⑤	譲渡不適の犬猫(※) ③-(④+⑤)
R 5 年 度	786	476	296	58	0	238
R 4 年 度	907	590	288	41	0	247
R 3 年 度	985	707	269	42	0	227
R 2 年 度	1,176	703	476	60	29	387

新たな目標設定 「徳島県新未来創生総合計画 (R6.3)」

「助けられる犬・猫」の殺処分ゼロの継続

入口対策

- 野犬対策
- ・ 適正飼育
- ・ 情操教育 (命の教育)

啓発

- ・ 動画
- ・ 終生飼養
- ・ 不妊去勢手術の推進

ポランティア連携

- ・ 飼い主のいない猫対策

市町村との連携

- ・ 普及啓発事業、不妊去勢事業



収容数の「減」

出口対策

譲渡

- ・ 譲渡会(月4回・48回/年)
(新たにWEB講習会の実施)
- ・ ドッグトレーナーによる「しつけ」
- ・ インスタグラムの活用
- ・ クラウドファンディングの活用
- ・ による「県外譲渡」の推進
- ・ ミルクボランティアとの連携強化

返還

- ・ マイクロチップ装着等による「所有者明示」の向上
- ・ 狂犬病予防法に基づく「登録」

「全ての犬・猫」の 殺処分数ゼロに向けて

野犬の实地訓練

- ドッグトレーナーによる研修会を開催、職員・民間等のスキルアップ
- ・ 实地訓練 (社会実験)
⇒ 譲渡の促進に繋げる

民間団体への訓練譲渡

- 県内外の団体に協力を呼びかけ
- ・ 訓練譲渡が可能な団体へ依頼



【議題2】犬・猫の「殺処分ゼロ」に向けた今後の取組について

野犬の实地訓練について

➤ 概要

「全ての犬・猫の殺処分ゼロ」の実現に向け、「譲渡不適」と判断される割合が高い「野犬の譲渡促進」を図るため、専門スキルを有するドッグトレーナーを活用した実地訓練を当センター等において実施する。

➤ 具体的な内容について（案）

野犬の攻撃性を和らげ、人慣れさせる訓練技術の習得・向上を図るため、専門スキルを有するドッグトレーナーを招き、当センターにおいて、「研修会」を実施するとともに、実地訓練に着手し、野犬の譲渡を促進する。

➤ 今後の予定

実地訓練	（研修会）	8月30日(金)	第1回実施予定
【社会実験】		9月、10月、11月	で2～3回、計8回実施予定
	（実地訓練）	10月中旬頃から、家庭環境等での訓練を開始	

※先進地の取組

岡山市 市施設で、ドッグトレーナーによる訓練後に譲渡（R6.3 視察）

民間団体への訓練譲渡について

➤ 概要

上記の取組に加え、「全ての犬・猫の殺処分ゼロ」の実現に向け、譲渡に適さない犬・猫の訓練及び健康管理を行い譲渡につなげる、新たな取組を実施する。

➤ 具体的な内容について（案）

譲渡に適さない犬・猫を県内外の対応可能団体に譲渡し、施設において訓練し、一般譲渡につなげる。（訓練譲渡）

➤ 今後の予定

対応可能団体の募集	県内外の団体に対し、協力の呼びかけ
収容場所の確認	協力いただける団体等における収容能力の確認・確保

※先進地の取組

広島県：県内団体への訓練譲渡、茨城県：県内外の団体へ譲渡

【議題3】その他

令和6年度クラウドファンディングについて

例年、県外譲渡の輸送費確保のため、クラウドファンディングを行っているが、令和6年度は、輸送費に加え、ミルクボランティアにかかる経費についても、クラウドファンディングにより予算確保を図る。

- 県外譲渡の輸送費 9月中旬頃から（目標金額 120万円）
- ミルクボランティアにかかる経費 10月中旬頃から（目標金額 100万円）

表 3 クラウドファンディングの実績（令和元年度～令和5年度）

	目標金額	寄付金額	寄付者数	実績頭数
令和5年度	125万円	134万2千円	87人	79頭
令和4年度		108万5千円	76人	101頭
令和3年度		192万8千円	115人	180頭
令和2年度		130万2千円	105人	139頭
令和元年度	60万円	109万3千円	99人	48頭

〈令和5年度クラウドファンディング実質歳入について〉

寄附金額（①）： 1,342,000円
 オツクル使用経費（②）： 201,300円
 県外譲渡充当経費（①－②）： 1,140,700円

〈令和5年度歳出執行状況〉

クラウドファンディング実質歳入： 1,140,700円
 充当県費： 237,778円
 県際間譲渡のための合計歳出額： 1,378,478円



人と動物がともに暮らせるどくしまづくり



動物愛護の つどい



令和6年

振替休日

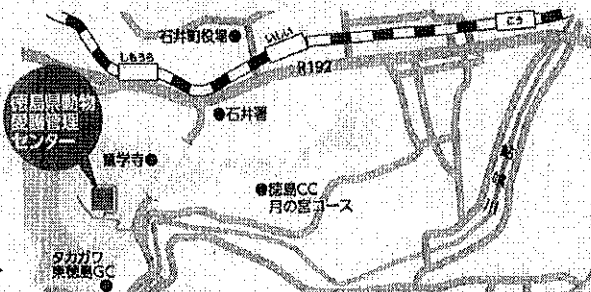
9月23日月

第1会場

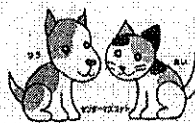
13:00~16:00

徳島県動物愛護 管理センター

- 動物愛護関係表彰
- 動物〇×クイズ
- 動物ふれあい教室・お散歩体験
- 動物なんでも相談コーナー
- 迷子札作成コーナー
- 動物絵画展
- ワンヘルス啓発コーナー



〒771-3201
徳島県名西郡神山町阿野字長谷333
TEL. 088-636-6122
URL <https://douai-tokushima.com>



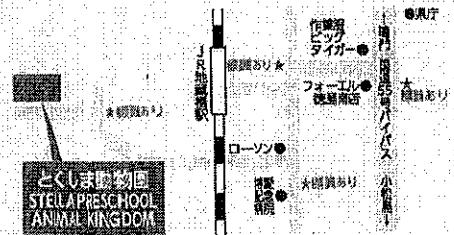
第2会場

9:30~16:00

とくしま動物園

STELLA PRESCHOOL ANIMAL KINGDOM

●動物ふれあい広場 ●ワンヘルス!〇×クイズ



徳島市波野町入道22-1 TEL. 088-636-3215
URL <https://tokushimazoo.jp>

動物絵画大募集

9月6日(金)

四つ切り画用紙に好きな動物の絵を描いて、センターまで郵送もしくは持参してください。
氏名・住所・年齢(学年)・電話番号を忘れずに書いてね!! 優秀作品に選ばれた方には、豪華賞品を贈呈します。



共催/徳島県、徳島市、公益財団法人徳島県動物愛護協会

協賛/学校法人長生学園ブレイメン動物専門学校、アース・ペット・サービス、イオンペット株式会社